

東広島医療センター

【施設概要】

当院は、昭和 14 年に傷痍軍人広島療養所として発足し、平成 16 年には厚生労働省から独立行政法人に移行し、それに伴って国立療養所広島病院から東広島医療センターへと改称し現在に至っています。この間、結核医療から、一般医療、さらには急性期医療へとその機能を変えていくと同時に、広島中央医療圏の中核病院としての役割を担うようになってきました。もちろん当院には以前より国立病院



機構が推進してきましたがん・循環器病・呼吸器疾患・内分泌代謝性疾患に関する専門医療施設としての位置づけもあります。平成 24 年には地域周産期母子医療センターを開設し、病気と闘う病院であると同時に次の世代の新たな生命をはぐくむ病院にもなりました。また広島県における災害医療や結核医療の重要な役目を果たしてきました。令和 2 年度からは世界を巻き込んだ新型コロナウイルス感染症に対しても感染症指定病院として活動してきました。

【放射線科】

当科は診療放射線技師 20 名、放射線診断医 3 名、放射線治療医 1 名、受付 2 名が在籍しています。現在稼働している装置は一般撮影装置 2 台、歯科用パノラマ装置、骨塩定量装置、乳房撮影装置、X 線 TV 装置 2 台、CT 装置 2 台(64 列/80 列)、MRI 装置 2 台(1.5T/3.0T)、泌尿器用 X 線透視装置、結石破碎装置、ガンマカメラ、ポータブル装置 5 台、血管撮影装置 3 台、放射線治療装置、治療用 CT 装置等があります。

【地域情報】

病院の周辺には日本三大酒処で知られる「西条」があり多くの酒蔵があります。毎年 10 月には酒祭りが開催され、コロナ禍で 3 年間中止されていた現地開催も昨年より復活して今年は 4 年ぶりに制限のない状態で開催され私も参加してきま



した。各酒蔵では試飲会場を設けています。西条の日本酒は、軟水を使っており、スッキリと辛口なのが特徴で、硬水とは一味違った味わいが楽しめます。日本酒に興味のある方はぜひとも足を運んでみてはいかかがでしょうか。

